

5分で読める

## ちょっと役に立つ

贈与税・雑所得になる

死亡保険金

満期保険金

年金保険

平成25年 1月

# 覚えておこう

## 贈与税になる死亡保険金

### 贈与税になる死亡保険金の契約形態は

| 契約者       | 被保険者     | 死亡保険金受取人 |
|-----------|----------|----------|
| A         | B        | C        |
| 例えば<br>祖父 | 例えば<br>父 | 例えば<br>子 |

契約者と被保険者と死亡保険金受取人が違う場合です。

### 死亡保険金

|             |         |
|-------------|---------|
| 死亡保険金       | 1,000万円 |
| 死亡時までの払込保険料 | 200万円   |

### 贈与税はいくらになるか？

払込保険料は贈与税の計算には関係ありません。  
父が亡くなり、祖父がC(祖父からみたら孫)に死亡保金を贈与した  
こととなります。

### 贈与税の計算式

**贈与額 - 110万円 [基礎控除額] = 課税価格 × 税率 - 控除額**

1,000万円 - 110万円 = 890万円 × 40% - 125万円 = 231万円

#### ● 贈与税の速算表

| 基礎控除後の課税価格 | 税率  | 控除額  | 基礎控除後の課税価格 | 税率  | 控除額   |
|------------|-----|------|------------|-----|-------|
| 200万円以下    | 10% | —    | 600万円以下    | 30% | 65万円  |
| 300万円以下    | 15% | 10万円 | 1,000万円以下  | 40% | 125万円 |
| 400万円以下    | 20% | 25万円 | 1,000万円超   | 50% | 225万円 |

# 覚えておこう

## 贈与税になる満期保険金

### 贈与税になる満期保険金の契約形態は

| 契約者  | 被保険者 | 満期保険金受取人 |
|------|------|----------|
| A    | A    | B        |
| 例えば夫 | 例えば夫 | 例えば妻     |

契約者と満期保険金受取人が違う場合です。

### 満期保険金

|             |       |
|-------------|-------|
| 満期保険金       | 700万円 |
| 満期時までの払込保険料 | 400万円 |

### 贈与税はいくらになるか？

払込保険料は贈与税の計算には関係ありません。  
夫が妻に満期保険金を贈与したことになります。

### 贈与税の計算式

贈与額－110万円[基礎控除額]＝課税価格×税率－控除額

700万円－110万円＝590万円×30%－65万円＝112万円

#### ●贈与税の速算表

| 基礎控除後の課税価格 | 税率  | 控除額  | 基礎控除後の課税価格 | 税率  | 控除額   |
|------------|-----|------|------------|-----|-------|
| 200万円以下    | 10% | —    | 600万円以下    | 30% | 65万円  |
| 300万円以下    | 15% | 10万円 | 1,000万円以下  | 40% | 125万円 |
| 400万円以下    | 20% | 25万円 | 1,000万円超   | 50% | 225万円 |



## 贈与税になる個人年金

### 贈与税になる個人年金の契約形態は

| 契約者  | 被保険者 | 年金受取人 |
|------|------|-------|
| A    | B    | B     |
| 例えば夫 | 例えば妻 | 例えば妻  |

夫が保険料を負担し、妻が年金を受取る。契約者と年金受取人が違う場合です。

### 年金額と払込保険料

|               |       |
|---------------|-------|
| 10年確定年金額      | 120万円 |
| 払込終了時までの払込保険料 | 900万円 |

### 贈与税はいくらになるか？

この場合の夫から妻への贈与額は、払込終了時の積立額になります。

この積立額を「**年金受給権の権利評価額**」といいます。

この権利評価額は3つの金額があります。

どの金額が正しいのかは保険会社に尋ねます。

贈与税の計算式は

**贈与税 = 年金受給権の権利評価額 + 初年度の年金額 - 110万円**  
**(基礎控除額) = 基礎控除後の課税価格 × 贈与税率 - 控除額**  
尚、2年目からの年金額は雑所得になります。

# 覚えておこう

## 雑所得になる個人年金 確定年金編

### 雑所得になる個人年金の契約形態は

| 契約者  | 被保険者 | 年金受取人 |
|------|------|-------|
| A    | A    | A     |
| 例えば夫 | 例えば夫 | 例えば夫  |

契約者と年金受取人が同一人の場合です。

### 年金額と総払込保険料

|               |       |
|---------------|-------|
| 10年確定年金額      | 120万円 |
| 払込終了時までの払込保険料 | 900万円 |

### 雑所得はいくらになるか？

$$\text{雑所得} = \text{受取年金額} - \text{必要経費}$$

$$\text{必要経費} = \text{年金年額} \times \text{総払込保険料} \div \text{総受取年金額}$$

$$\text{必要経費} = 120\text{万円} \times 900\text{万円} \div (120\text{万円} \times 10\text{年}) = 90\text{万円}$$

$$\text{雑所得} = 120\text{万円} - 90\text{万円} = 30\text{万円}$$

この方に他に所得——例えば給与所得が400万円あるとします。  
この場合に雑所得と給与所得を合算して所得税を計算します。

# 覚えておこう

## 雑所得になる個人年金 保証期間付終身年金編

### 雑所得になる個人年金の契約形態は

| 契約者  | 被保険者 | 年金受取人 |
|------|------|-------|
| A    | A    | A     |
| 例えば夫 | 例えば夫 | 例えば夫  |

契約者と年金受取人が同一人の場合です。

### 年金額と総払込保険料

|               |         |
|---------------|---------|
| 10年保証期間付終身年金額 | 120万円   |
| 払込終了時までの払込保険料 | 1,000万円 |

## 雑所得はいくらになるか？

$$\text{雑所得} = \text{受取年金額} - \text{必要経費}$$

$$\text{必要経費} = \text{年金年額} \times \text{総払込保険料} \div \text{総受取年金額} (\ast)$$

(※) 保証期間付終身年金の総受取年金額は  
年金年額 × 下記の「年金の支給開始日における年齢別余命年数」の余命年数と保証期間年数のいずれか長い年数

年金支給開始60歳、男性の場合の余命年数は下記表より……19年  
個人年金の保証期間は……10年  
従って19年になります。

$$\text{必要経費} = 120\text{万円} \times (1,000\text{万円} \div (120\text{万円} \times 19\text{年})) = 52.8\text{万円}$$

[小数点3桁を切り上げします]

$$\text{雑所得} = 120\text{万円} - 52.8\text{万円} = 67.2\text{万円}$$

#### ●年金の支給開始日における年齢別余命年数

| 年齢 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男性 | 19 | 18 | 17 | 17 | 16 | 15 | 14 | 14 | 13 | 12 | 12 |
| 女性 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 |

# 覚えておこう

## 公的年金の雑所得と 公的年金控除額

### ●公的年金の雑所得表

| 年金を受け取る人の年齢 | 公的年金等の収入金額の合計額                                | 割合   | 控除額        |
|-------------|---|------|------------|
| 65歳未満       | 公的年金等の収入金額の合計額が700,000円までの場合は所得金額はゼロとなります。)   |      |            |
|             | 700,001円から1,299,999円まで                        | 100% | 700,000円   |
|             | 1,300,000円から4,099,999円まで                      | 75%  | 375,000円   |
|             | 4,100,000円から7,699,999円まで                      | 85%  | 785,000円   |
|             | 7,700,000円以上                                  | 95%  | 1,555,000円 |
| 65歳以上       | 公的年金等の収入金額の合計額が1,200,000円までの場合は、所得金額はゼロとなります。 |      |            |
|             | 1,200,001円から3,299,999円まで                      | 100% | 1,200,000円 |
|             | 3,300,000円から4,099,999円まで                      | 75%  | 375,000円   |
|             | 4,100,000円から7,699,999円まで                      | 85%  | 785,000円   |
|             | 7,700,000円以上                                  | 95%  | 1,555,000円 |

#### ※例えば65歳以上の人

「公的年金等の収入金額の合計額」が350万円の場合。  
公的年金等に係る雑所得の金額は次のようになります。

$$\text{雑所得} = 350\text{万円} \times 75\% - 37.5\text{万円} = 225\text{万円}$$

